

2013年3月～5月

わっしょい江東

## かわあ版

地域を知ってください。  
 地域の和に参加してください。  
 地域を好きになってください。  
 一緒に江東区を盛り上げていきましょう。

春号

## 亀戸梅屋敷

亀戸に新たなランドマークが  
 3月17日、オープン!!

亀戸駅北徒歩5分の立地に、地元住民、観光客向けの交流館「亀戸梅屋敷」が、いよいよ開業する。

江戸時代から貯木場として栄えた地元・江東区の木場をイメージさせる木材調の部材や、気品あふれる純和風の建物、別荘・梅屋敷をモチーフとしたデザインは、江戸時代にタイムスリップしたような雰囲気浸ることができる。

施設は、交流館の「梅結館」と、本館の「福亀館」の二つの建物からなり、それぞれが、イベントや観光の拠点となっている。

交流館である「梅結館」は、その昔、梅の景観を求めて多くの人々が集まり華やかな交流が繰り広げられたことから、人と人、人と街を結ぶ市民ふれあい拠点としている。

また、本館の「福亀館」は、亀戸の地に根付く長寿の縁起物「亀」にあやかり、亀戸を訪れた人々に「福」をふるまう観光もてなし拠点とし、地域の商店街の店主たちが選りすぐった「うまいもの」「いいもの」を紹介する。また、亀戸を中心に江東区内の、観光スポットを情報発信する「観光情報



(写真提供：(有)福地写真館)



場所◆亀戸梅屋敷  
 住所◆江東区亀戸4-18-8  
 問合せ◆亀戸いきいき事業協同組合 事務局  
 江東区亀戸2-45-8 03-3681-2685

## 《亀戸梅屋敷》とは

もともとは、商人、伊勢屋彦右衛門所有の別荘「清香庵<sup>せいきやうあん</sup>」のことで、亀戸3丁目近辺にあった。庭内に梅が多く植えられていたことから「梅屋敷」と呼ばれ、かつて存在した「臥龍梅<sup>がりようばい</sup>」と名付けられた一株はとても有名であった。8代将軍徳川吉宗も鷹狩の帰りにこの地を訪れたといわれている。花の季節にはたくさんの人々にぎわった。浮世絵師・歌川広重の傑作「名所江戸百景」にも描かれている。

ゾーン」と、名物・名品を販売する「物販ゾーン」を設ける。

マルシェとよばれる青空市やグルメイベントなども予定しており、新たな商品やサービスを地域住民に楽しく提供することで、地域住民の商店街利用を増加させ、亀戸梅屋敷の効果が商店街全体の活性化につなげることを目的としている。

わっしょい江東協議会

〒135-0016 江東区東陽4-5-18  
 江東区産業会館2階  
 事務局：東京商工会議所 江東支部内  
 電話：3699-6111 FAX：3699-5511